

ぶどう生産における農福連携

～多様な人材活用による持続可能な農業モデルの構築～

東御こもだ果樹園合同会社

菰田 央

令和8年吉日



東御こもだ果樹園の紹介



経営責任者
菰田 亜紀子
ハート担当

身体障害者手帳(聴覚障害)2級
元聴覚障害者児童福祉施設職員

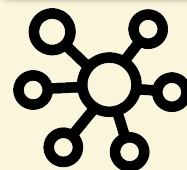
長野県東御市



長野県内限定品種
クイーンルージュ®
食べチョコ ぶどうグランプリ2025
パッケージ賞 受賞



技術販売責任者
菰田 央
ロジック担当
元SE



信州の環境にやさしい農産物 50
長野県認証(特別栽培相当)



KOMODA KAJYUEN
TOMI



1 農福連携取組みへの背景と課題

ぶどう栽培の仕事

最繁期：6月～7月

新梢
管理

除草

房作り

房切り

ジベレリン処理

摘粒

袋掛け・傘掛け

収穫期：9月～10月

夏期
剪定

除草

出荷作業

収穫

選果

梱包

熟練技術者の育成が困難

毎年の人材確保が不安定

品質・生産量の安定化が困難



2 プロジェクトの目的

当初の目的
安定的な労働力の確保



深化・発展した目的
**誰もが誇りを持って働ける持
続可能な農業の実現**



3 農福連携を支える仕組み：対話と改善

この対話の積み重ねが、信頼関係の基盤となりました。



✓ 定期的なミーティング

- ・利用者・職員も参加
- ・意見や感想を直接共有
- ・危険点・注意点の洗い出し

✓ PDCAサイクルの実践

- ・計画(Plan) ・実行(Do)
- ・評価(Check) ・改善(Action)



4 農福連携定着に向けた独自手法の開発： 独自手法「支梗選抜づくり」

【課題】

- ・「房切り」はぶどうの品質を左右
- ・複雑な判断が求められる最重要工程

【解決策】

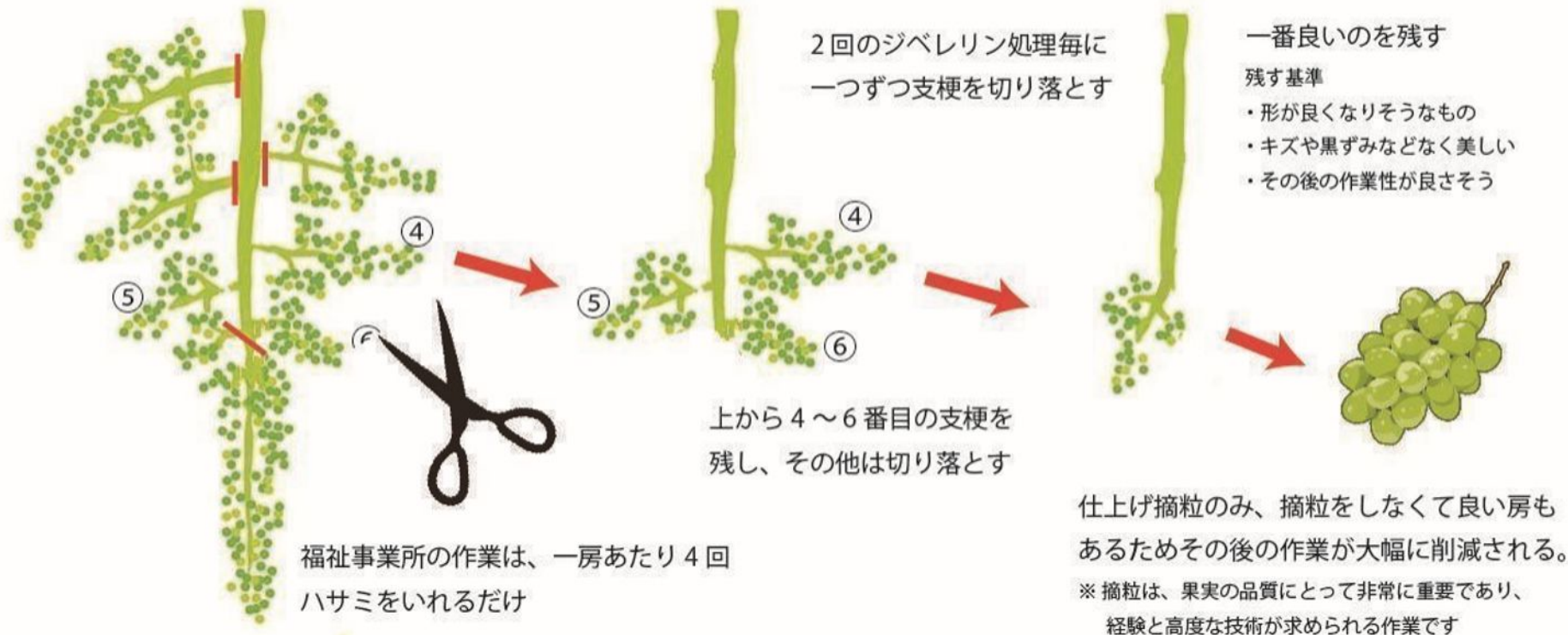
- ・「判断」と「実行」の工程に細分化



独自手法「支梗選抜づくり」

456 支梗選抜づくり ～こもだ果樹園考案～

農福連携だけではなく通常作業においても
品質を下げずに作業負担を少なくできます。



5 成果・結果

農福連携の実践	初年度：2023年	2年目：2024年
労働条件	平日 午前 2時間	平日 午前／午後 合計4時間 ※ 倍増
剪定枝運び 粗皮剥ぎ 草刈り 袋掛け&傘掛け 夏期剪定	○	◎ 「作業精度・速度向上」 粗皮剥ぎ・草刈り・ 袋掛け等で顕著な向上
房切り 摘粒	×	◎ 独自手法「支梗選抜づくり」 により、房切り作業を実施



成果①: 新たな技術習得

独自手法の導入により、これまで実施困難だった「房切り作業」を...

約 5,000 房 (20a分) **実施！**



成果②：社会的・人的効果

今まで休みがちだった人が**毎日出勤**

仕事楽しい

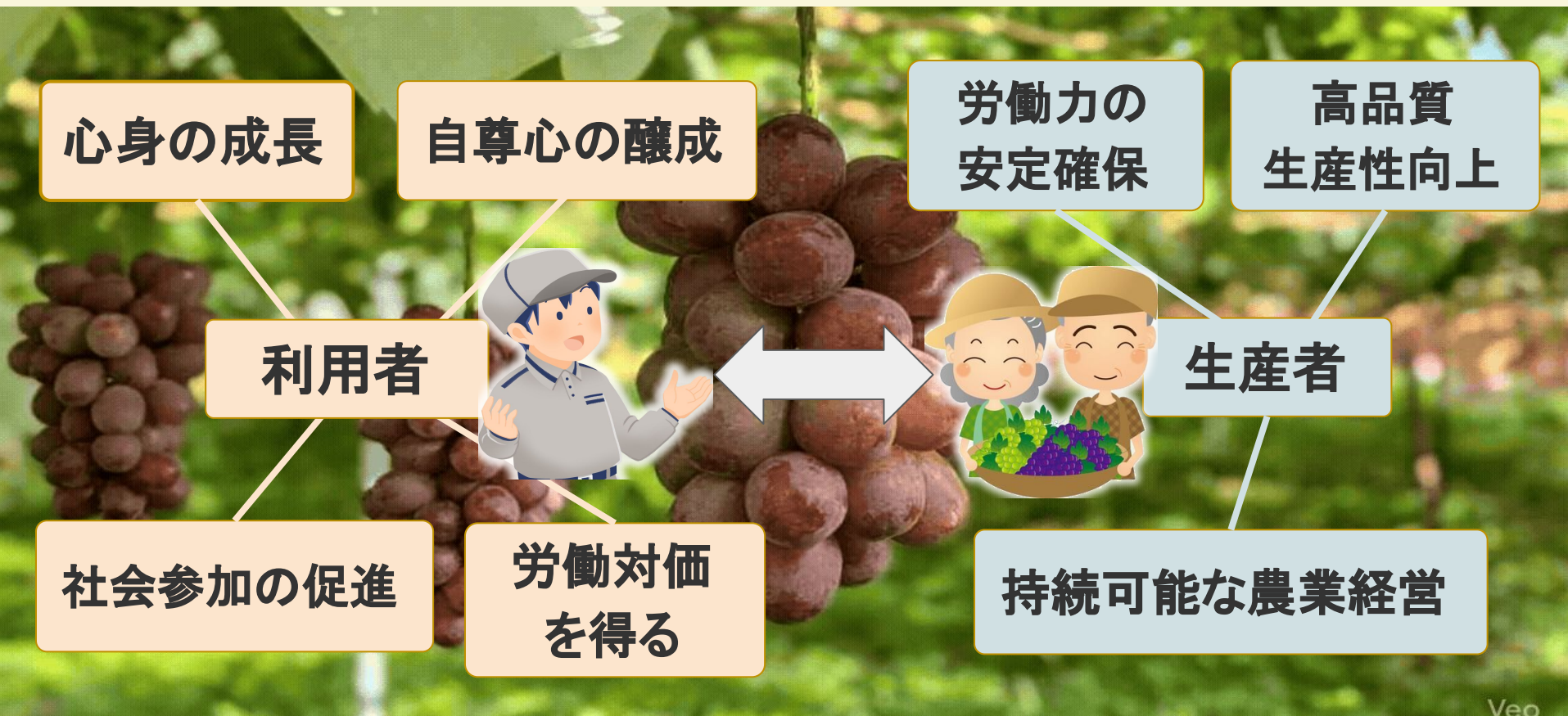
この仕事を続けていたら、
体力がついた



僕、ぶどうが嫌いだったんです。ここで育てたぶどうを食べて、
人生が変わりました！



6 まとめ: Win-Winな関係の構築



7 今後の展望

- ・ 今後は、経済的効果を詳細に分析し、**波及性のあるモデルとして体系化** します。
- ・ 最終的に、東御市全体、更には、**全国の同様の課題を抱える地域への展開** を目指します。



日本の葡萄、世界への発信基地！
Tomi Grape Sanctuary ～ぶどうの聖地～
2026年9月 OPEN

ご清聴ありがとうございました。

